授業科目　看護実践論

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	看護
塚本　康子　他	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】
学んできた、各看護領域の学習を統合し安全・確実な看護実践となるよう、また臨地に円滑に導入できることをねらいとする。

【学習目標・行動目標：SBO】
１・自分自身の看護技術の習得状況を振り返り、自己の不足してりいる技術を列挙する。
２・患者の特性をふまえ、理論に基づいた看護実践ができる。
３・２・に基づいて、安全・確実に看護技術を実践できる。
４・自己の看護実践における課題について考察（評価）する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	事例の特性の理解	2	演習
2	看護技術の適用	2	演習
3	看護技術実践	3	演習
4	看護技術実践	3	演習
5	看護技術実践	3	演習
6	看護技術実践	3	演習
7	自己の振り返り	1	演習
8	まとめ	4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料	適宜配布			

【評価方法】
実技試験他

【履修上の留意点】
４年間を通して学習してきた看護技術を統合して安全・確実に実践できるように、各自が真摯に取り組んで欲しい。